

Pal

～仲間


2016
Winter Edition
Vol.92

やまと世界料理の屋台村2016

今年は16店のエスニック料理店が大和駅前に並びました。
来場者は過去最高の7,000人！
多くの皆さまにお越しいただきありがとうございました。



2016年10月23日(日)
大和駅東側プロムナード

Contents

外国人市民の社会参画について考える.....	2～3
Hello Everybody! ～外国人市民インタビュー	4
行ってみたいあの店この店【タンズ バインミー】	5
市内国際関係団体のイベント案内	6
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ	7～8

外国人市民の社会参画について考える

「票につながらない」とは、外国人市民を取り巻く地域の環境を、より良いものにしたいと考えた時に、よく聞く言葉です。

日本において外国籍の市民は、地方選挙であっても参政権を持ちません。

国際化協会では、同じ地域に暮らす外国人市民の意見もまた、市の政策に反映されるべきであり、外国人市民自身の抱える課題や地域社会の問題を解決するためにも、外国人市民が、地域づくりに参画できる機会を整える必要があると考えています。

そこで国際化協会では現在、「外国人市民サミット」の開催、「多文化共生会議」の開催、「外国人市民で作る活動グループへの運営支援」という3つの事業で、外国人市民の自立と社会参加を促しています。



外国人市民サミット

年に1度、市長と外国人市民の懇談の場として開催しています。



今年度は、6月26日に「外国人市民も住みやすいまちづくり」をテーマに開催しました。

当日は、進行を神奈川大学非常勤講師の荻村哲朗氏にお願ひし、22名の外国人市民の他に、市役所の街づくりを担当している職員や大和市と包括連携協定を締結している青山学院大学の学生等が参加しました。

外国人にとって住みやすいまちのキャッチコピーを考えるとというグループワークでは、「助け合う、ウエルカムなまち」「コミュニケーションが取りやすいまち」といったアイデアが出され、「そのためには、外国人からも挨拶していこう!」と外国人参加者が呼びかける場面もみられました。



外国人市民で作る活動グループへの運営支援

外国人市民が、自身の抱える課題を解決するために自らが主体となつて行う活動を、主に外国人市民からの相談に応じて支援しています。



現在は、外国人市民の子育てや生活に関する情報交換の場である「外国人女性の会」と、外国人市民の健康を促進するために活動するランニンググループ「DALE! DALE! コクサイ」が対象です。

私たちがこの事業を通して目指しているのは、生き生きと自信を持ち、主体的に地域で活動する外国人市民の姿です。残念ながらこれは、外国人市民に日本人市民と平等の機会がひらかれるだけでは達成されません。

当事者への働きかけだけでなく、広く市民の皆さんへご理解を呼びかけていきたいと考えています。



もうひとつの方法として、外国人市民が委員となつて行政への提言を行う「外国人市民会議」の設置があります。神奈川県内でも、県をはじめ、川崎市や藤沢市、厚木市などで開かれています。大和市においては、国際化協会が大和市より委託を受けて「多文化共生会議」を開催しています。

大和市の会議の大きな特徴は、外国人市民だけではなく、日本人市民もこの会議に委員として参加していることです。これは、外国人市民を取り巻く環境を改善することが、すべての市民にとって住みよい地域づくりとイコールであるという考えに基づいています。

一方で、県内の他の外国人市民会議は、市(または県)が条例で設置することを定めており、提言や報告書は、直ちに首長へ提出され、首長から議会への報告が義務付けられているため、外国人市民が市政に参加する機会が保障されていますが、大和市の場合、外郭団体である国際化協会の理事長へ提出されるため、市の施策に反映するのが難しいという課題があります。

第4期大和市多文化共生会議

大和市における多文化共生社会の実現
外国人市民の社会参加の促進
日本人市民と外国人市民が共生・協働するための課題の解決に向けて協議できる場の設定を目的に公募の委員で月に1回会議を開催しています。



開催期間：2016年2月から2018年1月まで
外国人委員：5名(ルーツ：パラグアイ、ペルー、ネパール、中国、フィリピン)

日本人委員：6名

委員長 府川恒貴(日本) 副委員長 楠瑠美子(パラグアイ)、ハゲイパトリシア(ペルー)

今回のテーマは、「外国人市民が発信するやまとの魅力～多様性を活かした地域づくり～」です。

今年は、アメリカやヨーロッパで、「移民」が国の未来を決める際の争点の一つになりました。7月の東京都知事選挙でも、その兆しが見られました。

新しい外国人がどんどんと割合を高めていく中、受け入れる側の戸惑いが、自身の置かれた状況とあいまって、排他的な言動につながっていく状況に危機感を感ぜずにはられません。外国人市民も地域の一員であるとの意識で、一人ひとりと向き合うことの大切さを、マジョリティーである日本人市民の不安を踏まえながら伝えていく、という地道な方法でしか、すべての市民にとって住みやすい環境を整える事はできない、と事務局である国際化協会が決めました。

過去3回の会議をとおして、外国人市民が困っていることを「提言」というかたちで目に見えるようにしても、それだけではなかなか課題の解決に結びつかない、ということがわかってきたからです。

現在までに9回の会議が開催されていますが、これがなかなかの挑戦で、委員の皆さんとの奮闘が続いています。

自分の目の前に見えている外国につながる子どもたちの勉強のこと、生活に必要な情報を手に入れること、日本語の習得に関すること、外国人市民の高齢化のことなど、どれ一つとっても、まだ充足した状態ではまったくないにも拘わらず、遠回りにも見える方法で、自ら解決への道筋を探っていかななくてはならないからです。

ただ、事前に会議資料を読み込んで会議に参加する姿や、慣れない調査や資料作りに真剣に向き合う姿勢、少しずつでもすべての市民のために良い環境を、と前向きに意見を出し合う様子は、ちょっとずつでも確実に、力を貯めているように見えます。

マイノリティーが、自分たちの置かれている状況を改善するために、マジョリティーに対して手を差し出し続けるのは、気力を要することです。

委員の奮闘を知っていただくことで、まずはこれを読んでくださっている皆さんから、外国人市民が地域に打ち解けていけるよう、今まで以上の心配りをお願いすると同時に、周りの日本人市民へも、是非理解を広げていってくださるようお願いしたいと思っています。

これまでの会議の経過

●第1回 2016年2月13日

- 1) 委嘱状交付
- 2) 自己紹介

●第2回 2016年3月12日

- 1) 方向性の共有
- 2) ワークショップ

●第3回 2016年4月9日

- 1) 会議テーマについて
- 2) 今後の会議の進め方について
- 3) 意見交換

●第4回 2016年6月11日

外国人市民の社会参画を進めるための日本人への働きかけを考える
NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター 理事長 裴 安氏

●第5回 2016年7月9日

- 1) 第1期多文化共生会議の提言について

●第6回 2016年9月10日

- 1) 第2期多文化共生会議の提言について
- 2) 第3期多文化共生会議の報告について

●第7回 2016年10月8日

「こうなったらいいなをかたちにする」
NPO法人さくらの森・親子サポートネット
理事長 伊知地 るみ氏

●第8回 2016年11月12日

藤沢市外国人市民会議での取り組みと、自分と「多文化共生」
藤沢市外国人市民会議コーディネーター
崔 英善氏

●第9回 2016年12月10日

外国につながる子どもたちの学習を取り巻く課題の解決策を実現するための各委員による調査の報告

Hello everybody!

外国人市民インタビュー

中国出身 そうびん 曹 敏さん

国際化協会では、年に1期、語学講座を開講しています。今年度は中国語講座を開講していて、曹さんには、その講師を務めていただいています。



■自己紹介をお願いします。

中国の江蘇省の出身です。大和に住んであつという間に25年が経ちました。便利なところで、ずっと住み続けたいですね。大学1年生と中学1年生の息子と、小学校4年生の女の子の3人の子どもがいます。中国から留学中の甥も一緒に住んでいて、毎日賑やかです。

留学していた夫について来日しました。母国では、英語の教師をしていましたが、日本では、子どもが小さかったときはずっと専業主婦をしていて、最近高校で中国語を教える仕事を始めました。国際化協会で中国語を教えるはじめて、身近にもこんなに中国語に関心を持っておられる方がいらっしやると知ってびっくりしています。みなさん本当に熱心に取り組まれていて、「楽しい」と言っていたいたときには、何より嬉しく思いました。

■大和市は、長くスペイン語圏の市民の多い地域で、国際化協会としてもサービスを充実させてきましたが、2009年の11月に、中国籍の住民が登録者数で1番多くなって、今では、全外国人市民の21%が中国籍です。災害に備えたり、日本や日本人のことをより知ってもらい、交流したりしていくためにも、普段から中国出身の方に、国際化協会のことをもっと活用していただきたいと思っているんですが、なかなか利用者が伸びません。

それは、自力で頑張っている証だと感じます。留学生や会社員、自営業の方も、主婦も、いろいろな中国の方が住んでいますが、皆、苦勞してもここで頑張る、という気持ちを持って来日しています。

話を聞くと、仕事のこと、医療のこと、子どものことは特に不安に思っていることが多いようですが、幸い中国の方がたくさん住んでいるので、友達や、困ったときに助けてくれる人が、周りに沢山いるのかもしれないですね。

今はインターネットを通じて、母国との交流も簡単です。LINEなどでつながっている同国人同士のコミュニティーも

たくさんありますよ。夫は本当に日本が大好きで、気質も合っているようですが、私自身は今のよう言葉が話せませんでしたし、日本に慣れるのに、随分と時間がかかったので、その気持ちはわかります。

いま、中国語を教えに行っている高校で、午後は、中国出身の2人の女の子の学習を手伝っています。なかなか勉強が手につかないようで、よくよく話を聞いてみると、家で中国でのように厳しく勉強するように言われていてストレスを感じているようです。子どもは日本のシステムで勉強しているのに、親がそれを理解しようとしていないことが原因です。わたしは子どもができてから、ママ友から始まって日本人たちとも少しずつお付き合いできるようになりました。自国のコミュニティーだけで生活していくことはできません。地域とつながろうとすることは大切だと思っています。

国際化協会は、いろいろな活動をしていて、相互理解を進めることにつながっていると思いますが、多少地味な感じがします。もっと予算を取って宣伝して、やっていることを具体的に伝えていく必要があるんじゃないかな。そして、皆さんがもっと気軽に立ち寄れる場所にしたら良いんじゃないかなと思います。

■「多文化共生」って言葉に、どんな印象を持ちますか？

本当に難しくて、永遠のテーマみたいなものかなと思いますね。外国人市民、日本人市民の両方に共生の意識がないとだめだと思います。

いま、PTAで校外委員をやっていて、朝マンションの前で子どもたちに声をかけているんですけど、子どもたちは、私の家族が外国人だってことを知っていて、何も言わずに通る過ぎていくんです。それがあつ「ああ、この人は毎日ここで挨拶しているな」って気づいて、ようやく挨拶を返してくれるようになるんです。日本の方が外国の人に対して持っているイメージは、マスコミによって作り出されたものだと感じることがあります。そのようなイメージが最初にあつ、中に入れてもらうのに時間がかかります。

でも反対に、いま学校での読み聞かせの活動にも参加してるんですけど、子どもたちは多少日本語が怪しくたつて、お話が面白ければ、読んでいるのが中国人だからって話も聞かずに騒ぎ出したりはしないです。そんなところにヒントがあるんじゃないかな？なんて考えたりします。



TRAVEL SUPPORT Inc

トラベル サポート 海外正規割引航空券
ホテル・現地ガイドの手配もOK

TEL 046(204)7714

E-mail travel-support.h@gol.com



ベトナムサンドイッチのお店 「タンズ バインミー」

お米の国のサンドイッチの話



三角の麦わら帽子(ノンラーっというんです。)をかぶって水牛とともに田んぼで働く人の姿。ベトナムというこんな風景が思い浮かびます。

ベトナムはお米の国。輸出量は世界第2位を誇ります(ちなみに1位はタイです)。ベトナム南部を流れるメコン川の流域では、なんと年間に3回も米を収穫することができるそうですよ。種類はタイ米などと同じインディカ米。

もちろん主食もお米です。基本的には炊いて食べます。おかゆも食べるし、私たちにもすっかりおなじみの麺料理フォーも、生春巻きの皮も米粉からできています。

さて、そんなお米の国の街なかでよく見かけるのがサンドイッチの屋台。フランスパンに具材を山盛り挟んで作ります。名前は「バインミー」。

インドシナ半島は、19世紀の終わりから20世紀の中頃にかけて、フランスの植民地であったことから、建築物や文化にフランスの影響が色濃く残っているところです。その一つがフランスパン。それにレバーペーストやチャーシュー、ベトナムハムとなます(大根と人参の酢漬け)、パクチーなどのアジアな具材をたっぷり挟んで、魚醤やスイートチリソースなどの、これまたアジアな調味料で味を整えれば出来上がり。

ゲン夫婦のバインミー屋さん

今年の7月1日、桜ヶ丘の駅の近くに1軒のバインミー屋さんがオープンしました。名前は「タンズ バインミー」。ベトナム出身のゲン夫婦のお店です。名前の由来は、お二人の5歳になる長男の名前から。旦那さんのゲン マン ツさんが店長で、奥様の夏美さんが調理を担当しています。



住 所：大和市福田5516-1
営業時間：10:00～20:00
水曜日は10:00～14:00
第1日曜日は9:00～14:00
定 休 日：年中無休
電話番号：080-4359-1508
駐 車 場：近くのコインパーキングをお使いください。

ム出身のゲン夫婦のお店です。名前の由来は、お二人の5歳になる長男の名前から。旦那さんのゲン マン ツさんが店長で、奥様の夏美さんが調理を担当しています。

ツさんは難民だった家族に呼び寄せられて20歳のときに来日。7年前に結婚して夏美さんも日本にやってきました。ふたりとも小さいときからバインミーを食べて育ってきました。そんなバインミーが、最近日本人の間でも密かに流行っているらしいと聞いて、子育てのかたわら4年もかけて美味しいバインミーを研究。このテーブル2つとカウンター3席の小さなお店を開きました。



旦那さんには他に建築現場でのお仕事があります。お店に立つのは料理をつくるのが大好きだという夏美さんです。なんと今まで、ほとんど休まず営業していて、そのかいあってか、ベトナム人のお客さんだけでなく、日本人のお客さんもとくさん来てくれるようになりました。

さあいadakimashou!

オーダーは券売機で済ませます。バインミーのメニューは全部で6種類。サイズはレギュラー(480円～)とスモール(280円～)の2種類から選べます。お好みで追加パクチーをどうぞ。お供は、ベトナムビール(333)にするか練乳入りのベトナムコーヒーにするかで迷います。

人気のメニューは豚焼き肉とレモングラスチリチキン。



上から、自家製ハムと
レバーパテ、レモングラスチリチキン、豚焼き肉(スモール)

レモングラスチリチキンは、日本人の好みに合わせた日本オリジナルメニューです。チャーシュー、ハム、レバーパテも、具材は全部こだわりの自家製です。チケットを夏美さんに渡したら、あとは待つだけ。お持ち帰りにもできますよ。

バインミー用に、特別に作って貰っているフランスパンは、皮がカリカリで中が軽いのが特徴。ちょっと焼いたら、レバーパテを塗って、キュウリ、なます、自家製ハム、パクチーをもりもり。最後に特製ベトナムしょう油のソースをかけたら、紙でくると巻いて完成!

できたとをどうぞお店でお召し上がりください!
フォーや生春巻きもあります。

地域密着・顧客密着のクリエイティブ集団

SINCE 1885



似顔絵名刺で
集客!UP

会話の
きっかけに
なる

キャラクターで
売上!UP

一目で
イメージが
伝わる

デザイン

似顔絵
キャラクター

販促支援

印刷

広告

ホームページ



さん太くん

ご相談無料

株式
会社

さんこうどう

<http://www.sankodo.net>

0120・3510・13

市内国際関係団体のイベント案内

大和市内で、国際化を進めるための活動している団体が開催を予定しているイベントをご案内しています。
詳しいことは各団体へ直接お問い合わせください。

大和地区日中友好協会

民間レベルの文化交流活動を通して日中友好の深化・拡大に努力している当協会への、市民の皆様の日頃のご理解・ご支援に深く感謝申し上げます。

2017年は日中国交正常化45周年を祝う多くの友好活動が両国で計画されています。



●当協会の年初のイベント紹介

◎1月14日(土)11:00～13:00 「日中談話会」(シリウス609室)
市民のご参加、大歓迎です。お気軽に「聊天」(フリートーク)しましょう。

◎2月5日(日)11:00～14:00
「水餃子で祝う春節の集い」(シリウス611調理室、他)
参加費500円。参加ご希望の方は事前にお申し込みください。
締切=1月12日。



お問合せ・申込み先：事務局・鈴木Tel:080-5972-0368

※新年を期して中国語に挑戦されたい方には、当協会に
木曜(中級)、土曜(初級)の2教室があります。

大和市生涯学習センター

地域リーダー養成講座 「外国人のための日本語力 〈読む・書く・話す力〉アップ編」

日本語初級の勉強を終了した方を対象に「読む・書く・話す力」を伸ばす講座です。将来的に地域で活躍できるようになることを目指します。

日 時：2017年3月6日(月)、7日(火)、9日(木)、10日(金)
午前9時10分～正午(全4回)

場 所：文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター
(大和市大和南1丁目8番1号)

参加費：一般1,200円

対 象：市内および近郊在住の定住外国人(日本語N3レベルの方)

定 員：先着15名

お申込み：大和市生涯学習センター 046-261-0491
2017年1月30日(月)午前10時～電話または生涯学習
センター窓口で

NPO法人かながわ難民定住援助協会

事務局が
移転しました

あたらしい事務所：〒242-0014
大和市上和田1773-2 エムオーハイム102,103号室
電話/FAXは変わりません(046-268-2655)

多文化共生の会「ラオスの文化を知ろう」

毎年恒例の料理教室を内容一新！今回はラオス難民定住者のビルンラハ ピンマチャンさんを講師にお招きして、祖国の食べ物、織物、舞踊などの文化紹介や、日本に暮らす定住者の現状、ラオスの今と昔などについてお話いただきます。試食もあります。

日 時：2017年2月26日(日) 午前11時～午後1時



日本語集中講座

日本語の会話、文法、読み、書きを基礎から勉強したい人のための講座です。

日 時：2017年4月5日(水)～6月23日(金)
毎週火・水・木・金曜日
午前9時10分から正午(全55回)

場 所：文化創造拠点シリウス6階生涯学習センター・
援助協会事務所

対 象：簡単な会話ができて、ひらがな、カタカナが
読めて書ける人



お申込み・お問い合わせ：NPO法人かながわ難民定住援助協会

電話/FAX: 046(268)2655 Email: nanmin@enjokyokai.org

NPO法人教育支援グループ Ed.ベンチャー

教育講演会 シフトダウンへの冒険 —「弱さ」の思想と生き方—

講 師：ナマケモノ教授 辻信一氏
(文化人類学者 環境活動家
明治学院大学国際学部教授)

日 時：2017年2月25日(土)
13時30分～16時30分(受付13時)

場 所：渋谷学習センター2階多目的ホール
参加費：一般1,000円 学生500円 高校生以下無料

お申込み・お問い合わせ：Ed.ベンチャー事務局
046-272-8980
toiawase@edventure.jp

やまと国際フレンドクラブ

やまと国際フレンドクラブ設立10周年記念 やまと国際交流パーティー

日 時：2017年3月19日(日) 開場 午後1時、開会 午後1時30分
場 所：大和市勤労福祉会館3階ホール

現在チケット好評販売中です

大人(中学生以上)：前売り¥1,000、当日¥1,200
(前売りで売り切れの場合、当日券はありません)
子ども(3才以上～小学生)：前売り¥500、当日¥600



お申込み・お問い合わせ：やまと国際フレンドクラブ事務局
Email: info@ifc-yamato.com
または、電話：080-5451-0432(留守電)

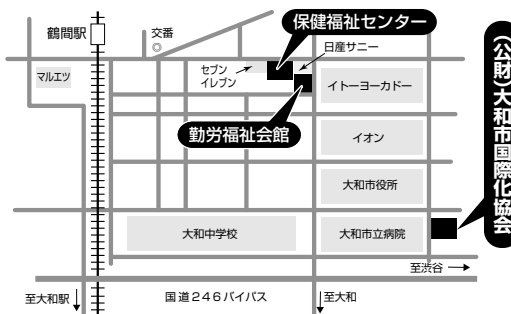


公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへのお申し込み、お問い合わせは国際化協会事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会

〒242-0018 大和市深見西8-6-12
大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側)
Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127
Email:pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間 月曜～金曜 第1、3土曜日
午前8時30分～午後5時



マークの見方

- …日時
- …場所
- …定員
- …費用
- …対象
- …内容
- …講師
- …資格
- …審査
- …お申し込み方法

第12回やまと国際交流フェスティバル 出店者を募集します!

毎年大勢の市民で賑わう「やまと国際交流フェスティバル」。来年5月28日(日)の開催を目指して実行委員会がスタートしました。当日、出店できる外国料理店とフリーマーケット出店団体を募集します。会場は、大和駅東側プロムナードです。出店申込書は、大和市国際化協会事務局またはホームページから入手できます。

(<http://www.yamato-kokusai.or.jp/>)

詳細は、大和市国際化協会までお問い合わせください。

●外国料理店

募集店舗数：9店舗
出店費用：15,000円 ※キッチンカーは10,000円
受付期間：12月5日(月)から2月3日(金)応募者多数の場合は抽選

●フリーマーケット出店団体

募集団体数：8団体
応募資格：外国人市民を支援する活動、または国際交流、国際協力を行う団体
出店費用：2,000円
受付開始：2017年1月4日(水)から先着順に受付



ボランティア交流会 日本語・学習支援セミナー

- 2017年3月11日(土)午前10時から午後1時
- 大和市役所分庁舎3階会議室
- 前半：学習支援法セミナー「入門者のための日本語支援」
あいさつやひらがなもわからない、日本語ゼロの学習者へどのように接していったらいいでしょうか。学校やクラス、日常の日本語に慣れてもらえるような指導方法を考えてみたいと思います。
後半：ワークショップ「日本語を日本語で教えること」
学習者の発話を促すための支援方法を考えてみましょう。
- 大和市教育委員会 日本語指導員 薬師寺美穂先生
- 対象 国際化協会ボランティアおよび学習支援の活動に興味のある方
- 25名
- 無料
- 申込み 電話、Email、直接国際化協会の窓口でお申し込みください。

フィリピン料理を作ろう!

- 2017年2月8日(水)午前10時から午後1時
- 大和市保健福祉センター 3階栄養指導室
- フィリピン出身 ロナルド ムトさん
- ミヌード(フィリピン風タコライス)、パクベツ(野菜の煮もの)
- 対象 どなたでも
- 15名
- 700円
- 申込み 電話または国際化協会窓口で、1月16日(月)から先着順に受け付けます。(定員になり次第締め切り)

災害多言語支援センター設置・運営訓練

災害多言語支援センターは大きな災害が起きたとき、外国人に情報を届ける拠点として設置するものです。すでに大和市と国際化協会が協定を結んでおり、この訓練は、災害時に外国人を支援するボランティアや外国人が集まって実施します。この訓練を通して災害時の外国人支援をいっしょに考えてみましょう。

- 2017年2月26日(日)午前10時から午後3時(予定)
- 大和小学校(大和市深見西8-7-1)
- 対象 登録ボランティアや外国人を支援している方・関心のある方など
- 申込み 国際化協会まで事前にお申し込みください。



通訳・翻訳ボランティア研修会

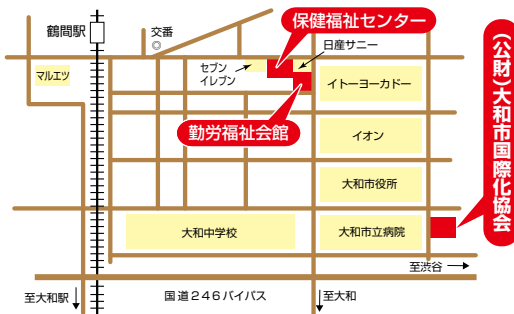
協会登録の英語ボランティアを主な対象に、研修会を開講します。ボランティア登録に興味のある方もご参加いただけますので、お気軽にお申し込みください。

- ①2017年1月21日(土) ②1月28日(土) ③2月4日(土)
午前10時から12時30分まで 全3回
- 大和市役所第1分庁舎3階
- テーマ “Common Mistakes Japanese Speakers Make”
日本人が間違いやすい英文法
- 20名
- 無料
- 申込み 先着順に受け付け中、定員になり次第締め切ります。

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

講座、イベントへの申し込み、お問い合わせは国際化協会事務局までお願いします。

■公益財団法人大和市国際化協会
〒242-0018 大和市深見西8-6-12
大和市役所分庁舎2階(大和市立病院の東側)
Tel:046-260-5126 Fax:046-260-5127
Email:pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間 月曜～金曜 第1、3土曜日
午前8時30分～午後5時



マークの見方

- 🕒…日時
- 👤…定員
- 👥…対象
- 📄…講師
- 📄…審査
- 📄…お申し込み方法
- 📍…場所
- 💰…費用
- 📄…内容
- 📄…資格

2017 国際理解講座

ニュースの裏側から知る!「地域にくらす外国人のこと」

日本に暮らす外国人の数は2015年12月31日現在、過去最高を記録しました。また訪日する外国人旅行者の数も増え続けています。今年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」によると、国は外国人労働者、外国人観光客に、経済成長の課題を解決する存在として期待を寄せているようです。

その一方で、インターネット上を中心に、マイノリティーに対する排他的な言動を目にすることがあります。マジョリティーである日本人市民の温かい受け入れなくして、地域の国際化は進みません。

地域にくらす外国人のことについて、話題になったニュースから学びます。

参加費は各回300円(賛助会員は無料)です。

大和市国際化協会まで事前にお申し込みください。先着順に電話、Emailまたは窓口で受け付けます。空席がある場合、当日でもご参加いただけます。

第1回 定員40名

1月22日(日)
13:30～16:00

大和市つきみ野学習センター
304会議室
(大和市つきみ野5-3-5)



除草ヤギを盗んで食べた?!

～新聞やテレビが報じない外国人労働者の真実

いでい やすひろ

【講師】出井 康博 氏 (ジャーナリスト)

2014年8月、岐阜大学が除草用に飼育していたヤギを盗んで食べたとして、3人のベトナム人が逮捕されました。

在留ベトナム人の起こす犯罪は昨年、中国人を抜き外国人で最多を記録しました。背景にベトナム人労働者が全国で急増していることがあります。

アメリカ大統領選では「移民」が大きなテーマでしたが、今、日本政府も外国人労働者の受け入れを拡大しています。彼らの働く現場で一体何が起きているのでしょうか?

「ルポ ニッポン 絶望工場」(講談社+α新書)の著者でジャーナリストの出井康博さんにお話いただきます。

第2回 定員70名

1月29日(日)
13:30～16:00

大和市スポーツセンター
2階会議室
(大和市上草柳1-1-1)



サッカースタジアムでバナナを振り回すと無期限入場停止?!

じんの としふみ

【講師】陣野 俊史 氏 (文芸評論家)

2014年8月23日、Jリーグ横浜マリノス対川崎フロンターレの一戦で、マリノスのサポーターが、フロンターレの外国人選手にバナナを振りかざすという人種差別行為を行ったとして無期限の入場停止処分を受けました。

あの当時、バナナを振りかざすことが人種差別であると知っていた人たちは、それほど多くはなかったのではないのでしょうか。

「サッカーと人種差別」(文春新書)の著者で文芸評論家の陣野俊史さんをお招きしてともに考えます。